

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業	都道府県名	北海道	地区名	三岱石倉 2 期
-----	---------------------	-------	-----	-----	----------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	2, 0 9 3, 7 2 2 千円	
年 効 用	②	1 4 0, 0 0 2 千円	
廃 用 損 失 額	③		廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	4 3 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 0 1	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	2, 7 9 4, 4 5 1 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 3 3	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	1, 0 6 4 砂利道を舗装道に整備することにより作物の砂塵被害が防止され収量が増加 対象作物：馬鈴薯、大根、甜菜等
	品質向上効果	2, 4 1 3 舗装に整備することで、農作物運搬時の荷傷み被害が防止され品質が向上 対象作物：馬鈴薯（食用）、大根
営農経費の節減	維持管理費節減効果	1 1, 3 7 0 農道の改修整備に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：道路
	営農に係る走行経費節減効果	1 0 7, 8 1 7 農道の改修整備に伴う農産物運搬及び営農通作の車輛走行に要する経費の節減 対象作物：馬鈴薯（食用）、かぼちゃ、大根、豆類、牧草等
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	4, 9 4 1 老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路
地域の生活環境の保全・向上	生活環境整備効果	1 2, 3 9 7 農道の改修整備に伴う一般交通車の車輛走行に要する経費の節減
計		1 4 0, 0 0 2

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業	都道府県名	北海道	地区名	ポン仁達内2期
-----	---------------------	-------	-----	-----	---------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	573,387千円	
年 効 用	②	49,018千円	
廃 用 損 失 額	③	4,737	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	34年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0554	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	880,064千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.53	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	2,088	砂利道を舗装道に整備することにより作物の砂塵被害が防止され収量が増加 対象作物：牧草
営農経費の節減	維持管理費節減効果	4,627	農道の改修整備に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：道路
	営農に係る走行経費節減効果	41,431	農道の改修整備に伴う農産物運搬及び営農通作の車輛走行に要する経費の節減 対象作物：牛乳、牧草
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	810	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路
地域の生活環境の保全・向上	生活環境整備効果	62	農道の改修整備に伴う一般交通車の車輛走行に要する経費の節減
計		49,018	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業	都道府県名	北海道	地区名	柏丘２期
-----	---------------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	650,297千円	
年 効 用	②	58,344千円	
廃 用 損 失 額	③	10,252千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	31 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0580	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	995,672千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.53	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	4,883 砂利道を舗装道に整備することにより作物の砂塵被害が防止され収量が増加 対象作物：馬鈴薯、甜菜、小麦、サトウキビ、牧草等
	品質向上効果	1,379 舗装に整備することで、農作物運搬時の荷傷み被害が防止され品質が向上 対象作物：馬鈴薯（食用）玉ねぎ、サトウキビ
営農経費の節減	維持管理費節減効果	5,586 農道の改修整備に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：道路
	営農に係る走行経費節減効果	42,220 農道の改修整備に伴う農産物運搬及び営農通作の車両走行に要する経費の節減 対象作物：馬鈴薯、甜菜、小麦、サトウキビ、牧草等
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	3,047 老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路
地域の生活環境の保全・向上	生活環境整備効果	1,229 農道の改修整備に伴う一般交通車の車両走行に要する経費の節減
計		58,344

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業	都道府県名	北海道	地区名	下オホバツ2期
-----	---------------------	-------	-----	-----	---------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1, 0 2 3, 4 3 5千円	
年 効 用	②	6 2, 1 8 9千円	
廃 用 損 失 額	③	1 3, 0 9 8千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	3 7 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 3 2	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	1, 1 5 5, 8 6 8千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 1 3	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	3, 0 5 5	砂利道を舗装道に整備することにより作物の砂塵被害が防止され収量が増加 対象作物：馬鈴薯、甜菜、小麦、スイートコーン、牧草等
営農経費の節減	維持管理費節減効果	6, 1 5 4	農道の改修整備に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：道路
	営農に係る走行経費節減効果	4 0, 8 5 2	農道の改修整備に伴う農産物運搬及び営農通作の車輛走行に要する経費の節減 対象作物：馬鈴薯、甜菜、小麦、スイートコーン、牧草等
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	8, 7 2 8	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路
地域の生活環境の保全・向上	生活環境整備効果	1, 9 0 3	農道の改修整備に伴う一般交通車の車輛走行に要する経費の節減
	地域資源保全効果	1, 4 9 7	事業の実施に伴い貴重な文化遺跡が後世に引き継がれるなど文化財の発掘調査費を評価
計		6 2, 1 8 9	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業	都道府県名	北海道	地区名	東養老牛 2 期
-----	---------------------	-------	-----	-----	----------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	714,158 千円	
年 効 用	②	42,773 千円	
廃 用 損 失 額	③	19,226 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	48 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0481	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	870,026 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.22	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	855	砂利道を舗装道に整備することにより作物の砂塵被害が防止され収量が増加 対象作物：牧草
営農経費の節減	維持管理費節減効果	3,626	農道の改修整備に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：道路
	営農に係る走行経費節減効果	20,999	農道の改修整備に伴う農産物運搬及び営農通作の車輛走行に要する経費の節減 対象作物：牧草
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	10,140	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路
地域の生活環境の保全・向上	生活環境整備効果	7,153	農道の改修整備に伴う一般交通車の車輛走行に要する経費の節減
計		42,773	